

集合写真



【静岡】ナルキュウ（酒井誠社長、磐田市）、鳴海急送（同、愛知県大府市）、ナルキュウ西部（折笠修一社長、岡山県瀬戸内市）は5月21日、愛知県みよし市の中部トラック

総合研修センターにおいて、全乗務員およびリフト作業従事者によるドラコン&リフコン「ナルキュウカップ2023」を開催。あわせて中期経営計画発表を行った。

ナルキュウグループ ドラコン&リフコン開催

学科・点検・走行技術を競った結果、ドラコン部門は千田光記氏（静岡）、リフコン部門は石垣佳大氏（愛知）が優勝。団体では茨城営業所がトロフィーを手にした。酒井社長は、「毎年この日を緊張して迎えるが、今年は姿勢も表情も良かった」と評価。事故なく高い品質で選ばれる会社を目指してほしいことやマナーの重要性を伝えた。

中期経営計画発表では、各営業所長による発表ののち酒井社長が総括。来夏、備前市へ本社移転を予定するナルキュウ西部を長距離中継輸送の拠点とするなど注力していく姿勢を示し、200人体制に向けて「勝負の10年。今日発表したことは責任をもって必ずやり遂げていただきたい」と強調した。

また、昨年115人・22チームが参加したトラックセーフティラリーにおいて、2年連続で無事故無違反を全員が達成したこと感謝し、記念品として参加者へ商品券1万円を贈った。

（富田 香）